

『多言語多文化 実践と研究』投稿規定

2007年9月13日

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター

本誌は、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター（以下、本センターと呼称）の機関誌であり、原則として年1回年度末に発行する。本誌は、別に定める研究誌の理念に合致した投稿原稿を広く公募する。

1. 投稿資格

原稿の投稿は、本学・本センターの内外を問わず、誰でも行うことができる。

2. 使用言語

- (1) 原稿の執筆は原則として日本語で行う。日本語以外の言語での執筆を希望する場合は、日本語訳（全訳）を同時に提出することとする。
- (2) 自分の母語以外の言語で論文を執筆する場合、使用言語のネイティブ話者によるネイティブチェックを受けること

3. 字数

原稿の字数は25,000字以内（見出し、小見出し、図表等、注、文献リストを含む）とする。図表および写真等については、4分の1ページに相当する大きさを400字相当、2分の1ページに相当する大きさを800字相当として換算する。

4. 投稿方法

本誌への投稿を希望する者は、MS Word もしくはそれと互換性のある形式で以下の文書を作成し、電子メールで提出すること。

- (1) 投稿原稿（別紙執筆要項に基づいて横書きで作成すること）
- (2) 以下の項目が書かれた文書（投稿原稿とは別に作成すること）

氏名（日本語表記およびローマ字表記）

住所 / 電話番号

電子メールアドレス

所属 / 職名（院生の場合は修士・博士の別、日本語表記および英語表記）

論稿の題目（和文・英文）

日本語で執筆した原稿の場合、200-300 words の英文要旨（ネイティブチェック者の氏名・連絡先を明記する。またはネイティブチェックを本センターに依頼する場合はその旨を明記する）

日本語以外で執筆した原稿の場合、本文のネイティブチェック者の氏名・連絡先（本センターではネイティブチェック者を紹介しないので注意）

< 原稿提出先 >

東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター（担当：塩原良和）

電子メールアドレス：tc@tufs.ac.jp

投稿後数日経っても受領の連絡がない場合は、改めてメールで問い合わせてください。

5．応募期限

原稿の投稿締め切りは、毎年1月15日とする。

6．査読

- (1) 投稿原稿は、匿名の査読者による査読の後、本センターによって掲載可否、修正の要不要が決定され投稿者に通知される。
- (2) 査読の結果、原稿の修正を求められた投稿者は、指定された期日までに指示された修正を行い、原稿を再提出する。

7．その他

- (1) 論稿の掲載順序は、本センターが決定する。
- (2) 本誌に投稿される論稿は未発表のものに限る。ただし、学会・シンポジウム等で口頭で発表したものについてはその限りではない。また、ブックレット・報告書等に未査読で掲載されたものについては改訂した上で投稿してもよい。他の雑誌等で審査中あるいは掲載予定となっているものは二重投稿とみなされ、本誌での発表は認められない。
- (3) 本誌に掲載される論稿に関しては、著作者が著作権を有するが、著作権法で規定する複製権および公衆送信権等については、著作者は国立大学法人東京外国語大学にその使用を許諾するものとする。

以上